

2024 年米国トウモロコシ&エタノールカンファレンス

講演者略歴



マッケンジー・ブービン アメリカ穀物協会グローバルエタノール輸出
開発部長

Mackenzie Boubin

Director of Global Ethanol Export Development

マッケンジー・ブービンは、アメリカ穀物協会グローバルエタノール輸出開発部長として、プログラム実施、広報、戦略的パートナーシップなど、協会のグローバルエタノールプログラムの開発と提供を担当している。ブービンは、ミネソタ州トウモロコシ生産者協会でバイオ燃料および業界関係のディレクターを務め、また、CHS社とミネソタ・バイオ燃料協会で勤務し、米国陸軍予備軍従事した経験もある。ブービンはミネソタ大学で経営学の学士号を取得している。



ミック・ヘンダーソン ケンタッキー州コモンウェルス・アグリ・エ
ナジー ゼネラル・マネージャー

Mick Henderson

General Manager, Commonwealth Agri-Energy

2003年から現在までケンタッキー州コモンウェルス・アグリ・エナジーにてゼネラル・マネージャーを務めている。工場のエンジニアリングと建設、ベンダー契約の交渉、加工、エンジニアリング、メンテナンス、ラボ、管理部門の全職員の雇用とトレーニングを含む全機能を担当。前職 1981年～2003年 アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド社。ブラッドレー大学にてMBA取得（1989年）、イースタン・イリノイ大学産業技術学士（1981年）。



ジム・リード イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会前会長

Jim Reed

Former Chairman, Illinois Corn Marketing Board

ジム・リードは、穀物コープ会長、ファーム・ビューロー財団会長、イリノイ州トウモロコシ生産者会長、イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会委員長、NCGA 理事、イリノイ州 FSA 委員会委員長を歴任。ジムの農場の家系は、イリノイ州に定住する前にいくつかの州で農業を営んでいたドイツとイギリス出身の先祖に遡る。昨年、息子のオースティンが経営に加わり、イリノイ州で農業を営む 6 代目となった。ジムと一緒にコンバインに乗る 4 人の子供たちがいるが、ジムは彼らに残す遺産が、市場機会の拡大と国際貿易へのアクセスの拡大であることを願っている。



ダン・カイツァー アイオワ州トウモロコシ生産者協会理事

Dan Keitzer

Director, Iowa Corn Growers Association

デモイン郡出身のダン・カイツァーは 37 年間農業を営んでいる。息子とともに、トウモロコシと大豆、そして特注の飼料用豚を飼育している。不耕起栽培を実践し、土壌浸食を最小限に抑えるための構造物を継続的に建設している。また、大手種子会社と提携し、30 年以上にわたって農場での種子開発研究を行っている。現在ダンは、第 9 地区を代表するアイオワ州トウモロコシ生産者協会の理事、およびアイオワ州トウモロコシ産業利用・米国生産委員会の委員長を務めている。また、アイオワ州南東部研究農場委員会の委員も務めている。